

平成 30 年度 一般社団法人日本くすり教育研究所 事業計画

概要

一般社団法人日本くすり教育研究所の活動も 3 年目を迎える。

会員数も順調に増えてきており、会員相互の情報交換や、医療系の団体、会社からの協力もいただきながら、より活発な活動を推し進めていく。会員相互の情報交換の場としてホームページの活動報告コーナーなどをより充実することにより、会員相互の活動を把握できるようにして、より高度な活動を目指す。このためには会員数の増加は必須である。

活動内容としては、青少年への医薬品教育、薬物乱用防止教育を中心に、飲酒・喫煙の害、アンチドーピング教育、さらには市民、医療従事者、教員への啓発活動など、会員の専門分野の活動に積極的に取り組んでいく。また、保護者への情報発信・啓発活動へも取り組んでいく。

1. 会員数の増加のための情宣活動と正会員の活動への積極的参加

目標 メール会員： 1, 500名
正会員： 150名
賛助会員： 5社（10口）

2. ホームページによる情報などの提供の充実

会員からの活動情報を掲載するサイトの充実を目指す。
関係団体、会社からの情報を増やし、ライブラリー構築を目指す。

3. 平成 30 年度薬物乱用防止啓発訪問事業（厚生労働省委託業務）（(株) 小学館集英社プロダクション パブリックサービス事業部）に参画

ホームページでの活動内容及び訪問事業の申し込みの紹介、教材の作成、研修会での講演に参加。

4. 健康教育（医薬品教育、薬物乱用防止教育など）授業への参画

所属（一社）日本くすり教育研究所として参画を増やす。

5. 健康教育指導者の研修会への参画

所属（一社）日本くすり教育研究所として参画を増やす。

6. 市民への「医薬品の適正使用」講演会へ参画

所属（一社）日本くすり教育研究所として参画を増やす。

7. 登録販売者・認定薬剤師の研修のための教材作成/研修会に参画

8. 保護者への情報発信・啓発活動の実施

9. 厚生労働省「健やか親子21」応援メンバーとの連携

10. 他団体・企業からの連携、相談対応

11. 当研究所の今後の事業・活動の方向性について検討